



高田病後児保育所「ぬくみ」 掲示板



【2月のテーマ】

おたふくかぜ

高田病後児保育所スタッフより

今月のテーマは「おたふくかぜ」です。おたふくかぜの由来は、お面の“おたふく”のように耳下が腫れることからその名がついたそうです。季節の時期関係なく1年を通じて散発しています。

☆『症状』

おたふくかぜは医学的に流行性耳下腺炎といい、ウイルスが原因の病気です。

発熱やだるさと一緒に両耳の下や顎(あご)の下、舌の下にある唾液線(だえきせん)が腫れてきます。約1週間で耳下腺の腫れがひきますが、顎(あご)の下腺の腫れは数週間残ります。

☆『治療・予防』

おたふくかぜは、特効薬はなく、症状を和らげる対症療法で治療を行います。発熱などに対し、解熱鎮痛剤を処方するなど、症状によって治療や処方される薬が違います。

効果的に予防するには、ワクチン接種がすすめられています。

☆『ご家庭で気を付けてください』

発熱、だるさと共に両耳の下などが腫れてきます。水分補給をしていただき、食欲がある場合は、噛み応えがある食べ物は避け、柔らかく、食べやすいものを食べさせてください。

入浴は、熱がなく、元気があれば入っても大丈夫です。

おたふくかぜでは難聴を起こすことがあります。かかってから2週間くらいは耳の聞こえに気を付けてください。

☆『登園・登校について』

学校保健安全法によると、耳下腺などが腫れてから5日を経過し、かつ全身状態が良好となるまで出席停止の目安とされています。かかりつけの医師、お子さんが通われている園や学校にご相談のうえ登園・登校を行ってください。

